

離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道府県名：東京都

町 村 名：神津島村

協定締結集落名：神津島集落

交付金額：14,688千円

協定参加世帯数：108世帯（うち漁業世帯：108世帯）

2 協定締結の経緯

神津島の周辺海域は、黒潮に恵まれ、貴重な漁場を有しているが、最近では漁獲高の減少や漁価の低迷、更には漁業者の減少や高齢化が進み、漁業の衰退が懸念される状況にある。また、かつては豊かであった周辺の藻場は、磯焼けなどの被害が急速に広がり、漁場環境の悪化も懸念される状況にある。そのため、未利用魚の活用等を通じた漁業及び集落の活性化や、藻場の改善等を通じた漁場環境の改善に取り組むことを目指して、離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

① 漁場の生産力の向上に関する取組状況

実施事業	事業内容	実施時期
藻場の改善	スポアバックによるテングサ等の散布	10/26
産卵場の整備	アオリイカ産卵礁の設置	5/15. 6/6
海岸清掃	海岸に漂着した流木等の清掃	8/15・2/8
海底清掃	漁場付近の海底に放置された廃棄物の清掃	10/17
キンメダイ等の資源管理	タグを取り付け放流	12/22. 1/20
イケス設置	サバ、カンパチ等の試験飼育	5月～1月
魚付林の整備	漁場付近の海岸周辺の森林に松苗を植樹	12月～2月

② 集落の創意工夫を活かした新たな取組状況

定置網等で捕獲され出荷されない雑魚に付加価値をつけ収入源とするため、未利用魚の加工品開発に取り組み、漁家経営の安定化を図る。

4 取組の成果

平成23年度は、前年度と同様に漁場生産力の向上を目指すため、スポアバックを利用した藻場の改善、アオリイカ漁礁の設置など稚魚育成事業に取り組んだ。また、未利用魚の加工品開発を実施し、商品化が始まっている。多種の事業実施により、老若漁業者の方に参加して頂き、本事業を通じて漁業資源の重要性等の認識向上が図られた。